

心配ごと相談所の開設について

開設日時

令和5年1月10日(火)

開設場所

午前9時30分～午前11時30分

湯浅町地域福祉センター

当相談所の規定に基づき秘密は厳守します。相談費用は無料です。

事前予約は12月5日(月)からの受付となります。

お申し込み・お問い合わせは湯浅町社会福祉協議会までお願いいたします。

心配ごと相談とは・・・

湯浅町社会福祉協議会から委嘱を受けた「心配ごと相談員」のみなさんが

日常生活における相談をお受けします。

相談内容によって、各関係機関と連携しながら問題解決に努めます。

今後の予定

- 12月6日(火) 心配ごと相談 (地域福祉センター)
- 7日(水) あいうえおサロン (地域福祉センター)
- 14日(水) やすらぎ年末の集い・一人親家庭 (地域福祉センター)
- 15日(木) やすらぎ年末の集い・障がい児者 (地域福祉センター)
- 16日(金) やすらぎ年末の集い・ボランティア (地域福祉センター)
- 18日(日) しらゆりキッチン (地域福祉センター)
- 1月10日(火) 心配ごと相談 (地域福祉センター)
- 11日(水) あいうえおサロン (地域福祉センター)



※コロナウイルス感染症拡大状況により、上記の予定が中止になることがあります。

編集・発行：湯浅町社会福祉協議会

〒643-0005 和歌山県有田郡湯浅町栖原126

TEL：0737-63-5175 FAX：0737-63-3304

WEB：http://www.yuasa-shakyo.or.jp/

homepage



Facebook



「老人福祉作文表彰式」

敬老の日に伴う「老人福祉作文」募集事業において、町内の小中学生を対象に「高齢者とのふれあいや交流」をテーマに作文募集を行い、437点の作品が寄せられました。
 11月2日(水)には、特選に入賞された方々に対する表彰式を湯浅町役場なぎホールで執り行い、竹島会長より子どもたち全員に表彰状を授与頂き、ご来賓の皆様からはお祝いの一言を添えて副賞を授与頂きました。



「会員親睦交流事業」を開催しました♪♪

湯浅町障がい児者父母の会では、コロナウイルス感染症予防を徹底しながら、11月13日(日)、「会員親睦交流事業」を開催しました。

会員のみなさんは、「琵琶湖博物館」や「めんたいパークびわ湖」を見学したりお買い物を楽しまれました。



冬場の「かくれ脱水」と「低温やけど」に気を付けて!!

冬場の「かくれ脱水」とは

脱水症と聞くと夏のイメージが強いですが、冬場は外気の乾燥や暖房による室内の乾燥から自然と水分が失われて「かくれ脱水」になることがあります。また、のどの渇きも感じにくく水分を補給する機会も夏場と比べると少なくなっています。乾燥による水分不足は夏場の発汗時のような強い喉の渇きを感じにくいのも特徴です。かくれ脱水は空気の乾燥による脱水と、水分摂取量の不足によって本人に自覚のないまま症状が進んでしまいます。



※かくれ脱水にならないための予防※

◆こまめに水分をとりましょう。

1日1.5リットルの水分摂取が目安となりますが、水分制限のある方は医師と相談しましょう。のどが渇いたと感じる前に、また入浴の前後、寝る前など水分補給をするタイミングを決めてこまめに水分をとることで予防ができます。

◇食事をしっかり食べましょう。

飲み物以外に、食べ物に含まれる水分も水分補給源になります。



「低温やけど」に注意!!

触って気持ちがいいと感じる程度の温度でも、長時間皮膚の同じ部分が接することで発症するやけどを「低温やけど」といいます。

低温やけどの主な原因となる暖房器具

使い捨てカイロ・湯たんぽ・アンカ・電気アンカ
電気毛布・ホットカーペット・電気こたつなど…



※予防のために気を付けること※

*電気毛布やホットカーペットなどは高温での使用を止めましょう。

*湯たんぽやアンカは寝る前に早めに布団を暖めておき、寝る時は布団から出しましょう。

*使い捨てカイロは肌に直接接触れないように、衣類の上から当てましょう。

また、寝る時は使用は止めましょう。



低温やけどは痛みも少なく、一見軽そうに見えますが、見た目より重症の場合がありますので早めに医療機関を受診しましょう。

